

サンクトペテルブルグ・ビジネス戦略会議の開催に当たり、一言御挨拶申し上げます。

一昨年9月に、日本とロシアとの貿易・投資の促進を目的とした日露投資フォーラムの記念すべき第1回を、サンクトペテルブルグにて開催致しました。私は、経済産業副大臣として参加致しており、その際に、今回訪日されましたマトビエンコ知事とは、有意義な会談も行いました。今回、このように日本にてお迎えできたことを大変うれしく存じます。

さて、ヨーロッパを代表する都市の一つであるサンクトペテルブルグ市は、エルミタージュ美術館、冬宮殿、エカテリーナ宮殿などの文化的・歴史的資産に恵まれ、1990年には世界遺産に登録されるなど、まさにロシアの悠久の歴史を体現する都市です。

また、帝政ロシアの時代から経済の中心地として繁栄を続けてきた同市は、近年ロシア経済が飛躍的に発展する中で、ますます世界中の注目を集める存在となっています。

これまで、サンクトペテルブルグ市では、マトビエンコ知事のリーダーシップの下、日本企業に対する積極的な誘致が行われてきました。この結果、自動車メーカーを中心とする日本企業の進出が相次ぎ、今やサンクトペテルブルグ市は、日本企業の対ロシア・欧州ビジネスにとって極めて重要な拠点となっています。

こうした状況の下、本日、日本とサンクトペテルブルグの間での物流の円滑化を目的として、「輸送とロジスティクス」をテーマとする議論が行われることは、両者の連携の強化を図る上で誠に時宜を得たものであると思います。

また、本日は、サンクトペテルブルグ市の観光発展戦略と産学連携能力についても議論される予定と伺っています。

サンクトペテルブルグ市は、世界でも指折りの観光資源に恵まれているだけではな

く、学術分野においても、サンクトペテルブルグ大学を始め、世界をリードする多くの研究機関を擁しています。

これらの観光資源や研究機関と日本の産業界とのコラボレーションを強化していくことは、新たなビジネスの創出を通じて双方に大きな利益をもたらします。今後とも、こうした取組が一層進んでいくことを大いに期待しています。

最後に、御臨席の皆様のみすますの御健勝、そして本会議が我が国とサンクトペテルブルグ市の経済関係の更なる発展の契機となることを祈念いたしまして、私の御挨拶とさせていただきます。